

# 鼓童文化財団の人材育成

くらす・まなぶ・つくる ~2021年11月~

豊かな自然に囲まれた研修所で生活をともにし、切磋琢磨していく「太鼓芸能集団 鼓童」メンバー養成コースの研修生。

コロナ禍の影響による制約の多い中、悩み、迷いながらも、夢に向かって打ち込んでいます。

来年1月、2年生は研修を修了し、準メンバーへの選考の時を迎えます。また1年生は進級選考が待っています。

今、何を想うのか。未来へ向かう13名の想いをぜひご覧ください。



# カリキュラム

昨年は外部講師をお招きすることが難しく、オンラインの稽古となることが多かったのですが、今年は佐渡においていただき直接指導を受けられる機会が増えました。  
感染対策に留意しつつ、地域の方々との交流や、祭りなどの行事にも参加することができました。

## 稽古(外部講師)



発声(野上結美先生)



水口囃子(水口囃舎・野村和仁さん)



山菜とり・俳句(赤塚五行さん)

琉球舞踊(金城光枝先生)

## 稽古(鼓童メンバー)



鬼剣舞(藤本吉利)

手踊り(小島千絵子)



唄(藤本容子)

太鼓の稽古(齊藤栄一)

## ものづくり



竹箸つくり

田植え



バチつくり(見留知弘)

稲刈り

## 農作業



学校林作業

佐渡宿根木公演



岩首祭り

中学校交流公演

## 地域との交流・実地研修

# 研修所の一日

特に朝の時間の過ごし方を中心にお紹介します。



日直が拍子木を鳴らします  
(夏は5:00、冬は5:30)



ラジオ体操や屈伸など  
(夏は校庭で)



ぞうきん掛けで身体を目覚めさせます



全身の筋肉の運動を意識します。  
闇雲に走るのではなく、早朝にバランス良く筋肉をおこすことで、怪我の防止にも繋がっています



ランニング



食事の前後には「いただきます」「ごちそうさまでした」と皆で手を合わせます



坂道の上では、演奏後の息が上がった状態でも声が出るように声出しを行います



彩りや栄養のバランスを考えてメニューを決め、研修生全員分の食事を作ります

### 「料理について」

「おいしいものを作りたい」という気持ちちは、舞台で太鼓で何かを伝えたいという気持ちにもつながってきます。

研修生は加工品を極力使いません。なぜなら自分の目で新鮮なものを見分ける力を養うためだと思っています。マヨネーズを手作りすることによって「こんなにも油を使うのか」など、いろんな発見があります。

原点に戻ることで、自分の中に「ごだわり」が生まれてくることを実感しています。

## 「太鼓芸能集団 鼓童」

メンバー養成コース

# 一年生

〈40期〉

## 吉岡 昂亮（よしおか こうすけ）

22歳 栃木県日光市出身

① 大学生。臨床心理学を専攻して人の動きなどを学んでいました。

② 「特技」ゴリラのものまね。  
【得意料理】ナムル。

③ 運転、防災、ゴリラ担当  
信じられないくらいきれいな佐渡の星が宝物です。

④ 空が宝物です。  
何をしていたか

⑤ 初めまして。研修生最年長のコウスケです。研修所の毎日は非常に濃くて、これまで以上無いほどに自分と向き合せられます。つらいこともたくさんあります

が、それ以上に得られるものがたくさんあると感じています。今を全力で楽しんで頑張ります！

### 自己紹介

## 丸山 祐輝

（まるやま ゆうき）

19歳

神奈川県横浜市出身

① バイトをしてお金を貯めていました。

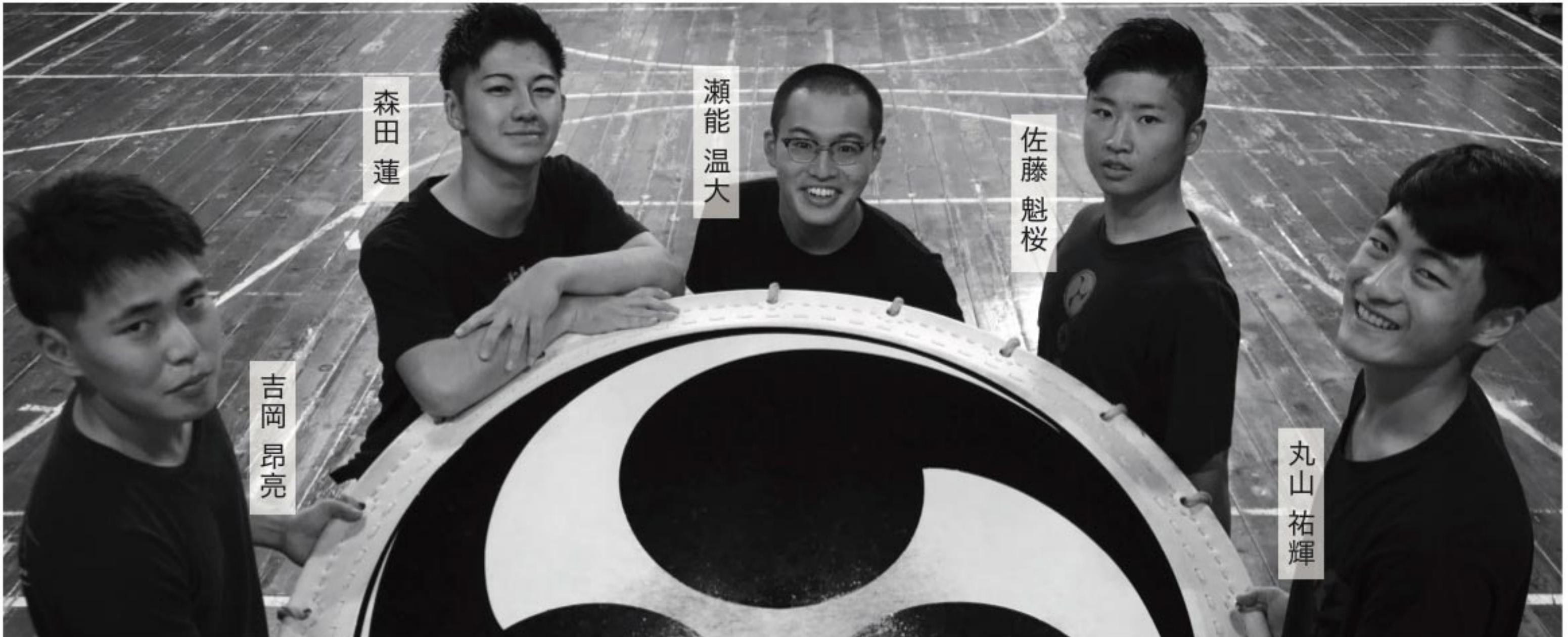
② 【特技】整理整頓  
【得意料理】お弁当サイズの卵焼き

③ 食材系

④ 地元の集落の方や島内の方の暖かさ。

⑤ 初めまして！マルです！

4月に佐渡に渡って早6か月がたち、研修所のことはもちろん、田んぼや畑など様々なことの知識が増えました。そんな中でも、まだ知らないことや分からぬこともたくさんあるので、もっともっと知識をつけ一人の人間として成長できるようにがんばります！



# 二年生

〈39期〉

## 心を動かす

廣寄 一馬

19歳 神奈川県横浜市出身

二年生になり、後輩に教える機会が必然的に増えました。その中でやり方を教えてつもりでその場を去り、しばらくして後輩のやつたものを見ると、教えたやり方とは違うようになっていました。その時に、自分が伝えたつもりでも、相手が理解していないなれば伝えたことに理解を以て演奏をしても、相手の心が動かなければ伝わらず、自己満足で終わってしまいます。心を動かすには、相手の思っている以上のことをしなければ届かないと思います。

どんなことをするにしても「なんのため」かを明らかにして、少しでも人の心を動かせる演奏者になりたいと、ここで生活を通じて感じています。



## 暮らす学ぶ創る、生きる

谷川 和馬

19歳 東京都府中市出身

この一年半、僕は生きることについて考え続けた。そのきっかけは祖母の死。合格の通知を受け一ヶ月も経たぬうちのことだった。生きる気力は欠かずとも胸裏にはただ「生きるって何だ」とだけが残った。生きるとは苦痛に耐え続け、厳しいだけだとそう思つて佐渡へ渡つた。研修所の日々。ふとした瞬間に気付く美しさや喜びがあつた。季節を越えようやく実を結ぶ稻の力強さ。脱穀して口にした時の喜び。人々の芸能や祭りに対する熱い気持ち。本物の暑さ寒さ自然を肌で感じ音楽と共にくる仲間。物に溢れ心は貧しくなっていく現代では簡単に見つけられるものではなかつた。自然と人とその営みが厳しい世界でまばゆく美しく、生きている。僕はこの美しさ、生きる喜びを音楽で伝える為、生きる。



隣に放っていた角材から作った刀。もちろん鞘もあります!

## 佐藤 魁桜

（さとう かいおう）

19歳 宮城県登米市出身

① 高校卒業後、年間アルバイトをしていました。

② 【特技】釣り  
【得意料理】ガパオライス

③ 散髪屋  
感謝の気持ち。

私は日本一の太鼓打ちになり、見て聴いてくれる人に笑顔と感動、そして感謝の気持ちを伝えるために鼓童のメンバーを目指しています。

④ 宮城県出身のカイオウです。私は日本一の太鼓打ちになり、見て聴いてくれる人に笑顔と感動、そして感謝の気持ちを伝えるために鼓童のメンバーを目指しています。

⑤ 感謝の気持ち。

## 瀬能 温大

（せのう はると）

18歳 神奈川県藤沢市出身

① 中高一貫の男子校に通つていて、学問と女性には縁遠い生活をしていました。

② 【特技】音感が良い、コミカルなポーズ  
【得意料理】カレー、麻婆豆腐、ゴーヤチャンプルー

③ 研修所の昆虫担当(観察、駆除、捕食)  
虫たちが生き生きと暮らしている自然

④ 集落の方々の暮らし、「コミュニティ」  
こんには、ハルです。私は地元にいる時から昆虫が大好きで、自然豊かな柿野浦に来てワクワクしております。色々な虫が見られる事の喜びと共に、この暮らしの中で自然と触れ合い、自分の価値観の変化を感じています。その変化がどう音にあらわれるのか、今後の生活で向き合おうと思います。

## 森田 蓮

（もりたれん）

19歳 群馬県桐生市出身

① 高校の部活動で和太鼓に熱中しながら、休みの日に篠笛を作っていました。

② 【特技】お菓子作り、篠笛作り  
【得意料理】キヤベツメンチ

③ 衛生係。  
火曜と土曜は「燃やす」ごみの日！

自分と関わってくれるすべてのひと。  
門付けのあるお祭りに参加できた経験

④ 関わるところ。  
火曜と土曜は「燃やす」ごみの日！

自分と関わってくれるすべてのひと。  
門付けのあるお祭りに参加できた経験

⑤ PCRの結果が出ず、ハルトと佐渡入りが1日遅れたモリです。佐渡に渡って風景を目で見たり、SNSではない人との関わりで小さな事でも感動したり、心に残つたりする生活を送っています。そんな気持ちになれる佐渡どこで、心に残つたりする生活を送っています。そんな気持ちになれる佐渡どこで全力で稽古に励みます！



# 鼓童文化財団研修所 ご支援のお願い

太鼓芸能集団「鼓童」の舞台を花にたとえれば、研修所はベースとなる土を耕し、根を育む活動にあたります。鼓童は財団を設立して以来、研修所を公益的な活動と位置づけて運営してまいりました。演奏の技術はもとより、その人間性すべてが舞台上にそのまま表れるとの考え方から「くらす・まなぶ・つくる」を柱に、まず何よりも生き方を磨くことに重きを置いております。

ぜひ、夢に向かう研修生の思いを支えていただけませんか。皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。

なお、お寄せいただいた支援金は、公益財団法人への寄付金として、所得税(お住まいの自治体によっては住民税も)の優遇措置の対象となります。

## 研修生育成支援

### ① 研修所設備補修、研修生育成支援

1996年に旧岩首中学校の校舎跡をお借りして開所し、研修生の学び舎、そして生活の場でもある「柿野浦研修所」。築70年を越えて老朽化した建物は補修の必要があり、また研修所の運営にも年間約3,000万円の費用がかかります。

皆様より引き続き「研修生育成支援」にご協力いただけますようお願い申し上げます。

#### ご送金先

[郵便振替]

加入者名：公益財団法人鼓童文化財団

口座番号：00690-9-25829

「研修生育成支援」と明記の上ご送金ください。

[インターネット]

鼓童サイト「ご支援お申込みフォーム」ではクレジットカードをご利用いただけます。

銀行振込、郵便振替をご希望の方には、メールで口座情報をお知らせいたします。

[www.kodo.or.jp/total\\_support](http://www.kodo.or.jp/total_support) またはQRコードよりアクセスをお願いいたします。



2021年12月までにご寄付をいただいた皆様のお名前を(ご希望により)  
鼓童サイトにご掲載させていただく予定です。

[www.kodo.or.jp/total\\_support/our-supporters](http://www.kodo.or.jp/total_support/our-supporters)

### ② 鼓童×きしゃぽん

#### 「どんどこ古本募金プロジェクト」



鼓童文化財団は「古本募金きしゃぽん」の協働パートナーです。「きしゃぽん」は、ご自宅に眠っている本・DVDなどをリサイクル換金し、指定の団体(協働パートナー)に寄付する仕組みです。当プロジェクトを通じてご寄付は、研修生の支援に使わせていただきます。

おかげさまで、皆様からのご寄付により研修生の稽古用のバチ材に換算して、800組以上を購入することができました!(2015年より開始。2020年は1年間で323,690円、今年は9月まで30万円を超えるご支援をいただきました)

[お問い合わせ] 古本募金きしゃぽん

フリーダイヤル 0120-29-7000

平日 9:00~18:00

URL: [kishapon.com/kodo/](http://kishapon.com/kodo/)

### ③ 物による支援(インカインド)

鼓童ではご寄付によるご協力のほか、物品等のご提供によるご支援も承っております。2021年度も消毒液や着物、お米など様々な物をご提供いただきました。このようなご支援をいただける方は、ぜひ鼓童文化財団までご連絡をいただけますようお願いいたします。

※②、③は税制上の優遇措置はございません。

## 「鼓童ハートビートラヂオ」で研修所が特集されました。

「鼓童ハートビートラヂオ」とは、普段、舞台では感じることのできない演奏者やスタッフの声をお届けしたり、リスナーの皆様からの質問やメッセージ、リクエストにお答えしていく「YouTube版ラジオ」です。

10月に「来れ!研修生」として、2回にわたって研修所を特集。現役メンバーの小松崎正吾と三枝晴太、そして研修所所長の石原泰彦が出演して、自らの研修生時代を振り返りながら、研修所について熱く語りました。

ぜひ、ご視聴ください!



#### #57・前半 (2021年10月2日公開)

<https://youtu.be/4p4znABG2qQ>

[主なトークテーマ]

- 研修所という場所の説明
- 研修生の1日のスケジュール
- 研修所で学べること、感じられること。
- 「生活即舞台」について
- 「農作業をすること、太鼓を叩くこと、その二つの繋がり」
- 「必要最低限の暮らしをする意味」



#### #58・後半 (2021年10月9日公開)

<https://youtu.be/3VI5snqk8xM>

[主なトークテーマ]

- 研修所で、楽しかったこと、苦しかったこと、泣いたこと
- どんな人と共に演奏したいか、どんな研修生を望むか
- このコロナ禍の社会において、芸術の持つ意味、太鼓の持つ意味、鼓童ができること、とは。



## 研修生募集

鼓童では次代を担う研修生を募集しています。2022年度研修生の募集は11月30日まで。  
あなたの可能性を試してみませんか。 [www.kodo.or.jp/apr](http://www.kodo.or.jp/apr)